

平成十八年度学力検査

A  
国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

## 問題用紙

### 注意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、全部で五問で、六ページです。  
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、まず、解答用紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

一、別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(一) 波線部分①～④の中には、用法・はたらきが他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分①「真つ直ぐに立つようにした」とあるが、なぜ「真つ直ぐに立つようにした」のか、その理由を、このときの少年の気持ちに着目して、本文中のことばを使って書きなさい。

(三) 傍線部分②「得意だった」とあるが、この場合の「得意だった」はどのような意味か、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、上手で自信があった      イ、ひいきの客だった      ウ、誇らしげであった      エ、親しい友だった

(四) 傍線部分③「その実は、やはり、ぬか漬けにされ」とあるが、これは、「その実は、ぬか漬けにされ」にくらべ、「やはり」の一語があることで、どのような内容が付け加わっているか、書きなさい。

(五) 傍線部分④「これは、あの二本のナスの实だ」と、食事のときに強調した。しかし、家族は、ほとんど関心を示さなかった」とあるが、このときの少年と家族の気持ちを、両者の気持ちの違いを明らかにしながら、それぞれ、本文中のことばを使って説明しなさい。

(六) 傍線部分⑤「これ以上にナスとの別れにふさわしい儀式はない」とあるが、なぜふさわしいのか、その理由を述べたものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、弱々しいアカトンボと家族に関心を持たれていないナスとの出会いは、季節の変わり目を表しているように思えたから。  
イ、季節をこえて生き抜いたもの同士の出会いは、愛着あるナスとの別れを思いがけず自然が演出したものだと感じたから。  
ウ、秋を象徴する命あるもの同士が別れの儀式を演じることは、ナスに特別の愛着を覚えたところから予想されたことだから。  
エ、自然が演じてくれた儀式は、青紫色のナスと赤いトンボとの色どりが鮮やかで、去りゆく夏の季節感に合っていたから。

(七) 二重傍線部分①の漢字の読みをひらがなで書き、②、③のひらがなを漢字に直しなさい。

二、別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(一) 波線部分①「二種」、②「以上」、③「違反」、④「意味」を、ことばが五十音順に配列されている国語辞典で調べる場合、①～④のことばはどのような順で配列されているか、配列されている順に、その番号を書きなさい。

(二) この文章を内容の展開の上から二つの部分に分けるとすれば、どこで分けるのが最も適当か。二つ目の部分の最初の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 本文中の  に当てはまることばとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、下まわるようなら      イ、意味するようなら      ウ、永続させるようなら      エ、生かすようなら

(四) 傍線部分①「元金には手をつけず、利子だけで食っていくやり方」とあるが、これはどのようなことを言っているのか、「元金には手をつけず」と「利子だけで食っていく」がたとえていることをそれぞれ明らかにして、本文中のことばを使って書きなさい。

(五) 傍線部分②「『保存』も重要な意味を持っている」とあるが、なぜ「保存」は重要な意味を持っているのか、その理由を「原生自然」の役割に着目して、本文中のことばを使って六十文字以上七十文字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(六) 二重傍線部分③の漢字の読みをひらがなで書き、④、⑤、⑥のひらがなを漢字に直しなさい。

(次のページへ)

三、次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(注1) (注2)

小野宮の右大臣をば、世の人、賢人のおとどとぞ云ひける。納言などにておはしける比にやありけん、内より出で給ふに、うつつとも

大臣

(注3)

いらつしゃつたころであらうか

宮中から退出なさつた帰り道

現実

白つばい

小さい男で

見たこともないのが

足はやに

なく、夢ともなく、車のしりに、しらばみたる物着たる小さき男の、見るとも覚えぬが、はやらかに歩みて来れば、あやしくて、目を

とめてご覧になると

②

不審に思つて

けしからん、そこをどけ

おつしゃると

(注4)

かけて見給ふほどに、此の男走りつきて、後の簾を持ち上ぐるに、心得がたくて、「何物ぞ。便なし。罷りのけ」とのたまふに、閻王の

白髪丸でございます

そのまま

③ 消えうせた

御使ひ白髪丸にて侍る」と云ひて、即ち、車にをどり乗りて、冠の上へのぼりて失せぬ。

お帰りになつてから身のまわりをご覧になつたところ

お見つけになつた

いとあやしく覚えて、<sup>④</sup> 思つて、帰り給ふままに見やり給へば、白髪をぞ、一筋見出だし給ひたりける。

(「発心集」より)

(注1) 小野宮——藤原実資。平安時代の人。

(注2) 右大臣——太政大臣、左大臣に次ぐ位で、政務一般をつかさどる。

(注3) 納言——官職名である大納言、中納言、少納言の総称。

(注4) 閻王——閻魔王の略。地獄で死者の生前の行為の善悪を審判する王。

(一) 傍線部分「おはしける」を、現代かなづかいに改め、ひらがなで書きなさい。

(二) 二重傍線部分①～④の中には、主語または主部となる人物が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(三) この文章の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、宮中からの帰り道、車に乗った小さい男に目をとめた小野宮は、その男を足ばやに追いかけた。  
イ、閻王の使いに追いかけられたという夢から覚めると、小野宮は、すっかり白髪にかわっていた。  
ウ、白っぽい物を着ている見たこともない男が小野宮の車に躍り乗り、冠を奪ったあと消えうせた。  
エ、白髪丸が小野宮の冠の上のぼって消えうせたあと、帰宅した小野宮は一筋の白髪を見つけた。

(次のページへ) ←

四、次の俳句と鑑賞文を読んで、下の各問いに答えなさい。

(俳句)

阿部みどり女

【鑑賞文】

(鑑賞文)

(今瀬剛一編「秀句三五〇選」雪「より」)

(一) 鑑賞文中の A には「(俳句)」(高浜

虚子)の句に表されている季節と同じ季節が入る。 A に当

てはまる季節として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、春 イ、夏 ウ、秋 エ、冬

(二) 鑑賞文中の B に当てはまることばとして、

最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、おぼろげにぼんやり  
イ、明確にきわだつて  
ウ、はかなく弱々しげに  
エ、ふんわりと暖かく

五、日常生活における「望ましいことばづかい」について、あなたの考えや意見を、「注意」にしたがって書きなさい。

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの体験や見たり聞いたりしたことを具体的に書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の正しい使い方にしたが、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

— おわり —

平成十八年度学力検査

A  
国  
語

解  
答  
用  
紙






200 180 160 140 120 100 80 60 40 20

—  
おわり  
—